

はつかいち 音楽祭

2022.9/23^F▶11/19^S

指揮・ヴァイオリンに国際的ヴァイオリニストの澤 和樹、
チェロにフランス・チェロ界の重鎮アラン・ムニエを迎える、
二人の独奏による協奏曲や日本人作曲家による
弦楽合奏の名曲を披露します。

はつかいち文化ホールウッドワンさくらぴあ開館25周年記念事業

はつかいち室内合奏団 “SA・KU・RA” 特別演奏会

2022年 10月23日(日) 15:00開演
(14:15開場)

※はつかいち文化ホールウッドワンさくらぴあ大ホール

Program

- J.S.バッハ:ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調 BWV1041
(Vn solo:澤 和樹)
- シューマン:チェロ協奏曲 ニ短調 op.129
(弦楽オーケストラ伴奏版) (Vc solo:アラン・ムニエ)
- 芥川也寸志:弦楽のためのトリプティーク(1953)
- 松本憲治:弦楽オーケストラのための<一つの悲歌>(1999)
- 早川正昭:『バロック風日本の四季』より「秋」

全席指定
(税込)

一般 3,000円 18歳以下 1,500円

※ ポイント5%付与

※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット発売日 会員:8月6日(土)・一般:8月13日(土)

プレイガイド

ウッドワンさくらぴあ事務室、ウッドワンさくらぴあオンラインチケット、
エディオン広島本店、チケットぴあ(Pコード:219-875)

お問合せ・
チケットの
電話購入

ウッドワンさくらぴあ ☎0829-20-0111

〒738-8509 広島県廿日市市下平良一丁目11-1

<チケット販売> 9:00-19:00

(休館日:月曜日 ※月曜日が祝日の場合は翌平日)

[アクセス]

●広電宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅より徒歩約7分

●JR山陽本線「宮内串戸」駅より徒歩約15分

※駐車場には限りがございます。ご来場は公共交通機関をご利用ください。



指揮・ヴァイオリン:澤 和樹

©Kenshu Shintsubo



チェロ:アラン・ムニエ



はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”

[主 催]廿日市市、(公財)廿日市市芸術文化振興事業団

[後 援]FMはつかいち76.1MHz、(一社)はつかいち観光協会、廿日市市国際交流協会、廿日市商工会議所、(一社)宮島観光協会



はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”(さくら)

広島県内でも屈指の音響を誇るはつかいち文化ホールのより有効的活用を図る計画の一環として、ホールを拠点に演奏活動を行うプロ・アンサンブルとして、2020年4月に正式発足した。

毎年開催される「はつかいち平和コンサート」では中心的役割を果たしている。その他、2018年より廿日市市内の市立小学校を対象に「はつかいち ほほえみ(学校訪問)コンサート」を実施、はつかいちジュニア弦楽合奏団“NO・ZO・MI”の指導など、地域に根差した活動を行っている。昨年1月に無観客開催として収録した「はつかいち ニューアイナー・ガラ・コンサート2021」は、DVDとして販売している。

今後の活動としては、来年1月の「はつかいち ニューアイナー・ガラ・コンサート2023」の開催、3月の「はつかいちジュニア弦楽合奏団“NO・ZO・MI”スプリング・フレッシュ・コンサート2023」への賛助出演を予定している。引き続き、「はつかいち平和コンサート」や「はつかいち ほほえみコンサート」への出演など廿日市市内での活動を中心に、「より市民に親しまれる合奏団」を目指して、積極的に活動を展開していく予定。

※愛称の“SA・KU・RA”(さくら)は公募によるもので、廿日市市の木である桜の樹が市民の心を和ませるように、音楽で人々の心に楽しさを咲かせる『咲(さく)樂(ら)』をイメージして付けられました。

<メンバー>

第1ヴァイオリン	上野 真樹 [◎]	大田 韶子	向田 さおり	星野 いずみ*
第2ヴァイオリン	後藤 明子	今井 千晶	余島 英子	益由香
ヴィオラ	藤井 雅枝	増田 喜代	山本 敬子	
チェロ	宮本 隆一	吉長 孝穂	泉 玲奈	
コントラバス	田中 由加	渡邊 美穂		
チェンバロ	高橋 孝子*			

◎はコンサートマスター
*は団友

<制作スタッフ>

- ◆企画・制作 はつかいち室内合奏団運営委員会
- ◆ジェネラル・マネージャー 松本 慶治
- ◆ライブラリアン 佐伯 洋子
- ◆ステージ・マネージャー 檜垣 伸郎



©Kenshu Shintsubo

澤 和樹 (指揮・ヴァイオリン) *Kazuki Sawa*

1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン=ティボー、ヴィエニヤフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞し、イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダルを受賞した。1980年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジェルジ・パウク、ベラ・カトーナの両氏に師事。1984年に東京藝大に迎えられるとともに本格的な演奏活動を開始し、1989年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意する。1996年より指揮活動を開始。2003年、2004年には響ホール室内合奏団、2005年には東京弦楽合奏団を率いて全国各地で演奏し絶賛される。日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団などにも客演し好評を博す。2004年、和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て2016年より2022年まで東京藝術大学長。英国王立音楽院名誉教授。



アラン・ムニエ (チェロ) *Alain Meunier*

1942年、パリに生まれる。7歳からチェロをはじめ、13歳でパリ国立高等音楽院に入学、15歳で室内楽、16歳でチェロのプリミエ・プリ(最高位)を獲得するなど、早くから才能を開花させる。18歳で突如、演奏活動を停止し、音楽美学や音楽学などを学ぶ。22歳で決意も新たにイタリア・シエナのキジアナ音楽院に入学し、再びチェロと室内楽の研鑽を積む。同音楽院卒業後、24歳から同音楽院で教鞭をとりながら、師のセルジオ・ロレンツォ主宰の「キジアナ五重奏団」に迎えられ、「キジアナ六重奏団」のメンバーとして世界各地で活動を展開。その後、ソリスト並びに室内楽奏者として世界の第一線で活躍を続ける。後進の指導にも熱心に取組み、リヨン国立高等音楽院、パリ国立高等音楽院の教授を歴任するほか、各地でマスタークラスを開催する。また、「ナボリ音楽フェスティバル」など音楽祭の音楽監督、八王子で2006~13年に3回開催されたガスパール・カサド国際チェロコンクールの審査員など幅広い活動を展開。室内楽とソロのCDが数多くリリースされ、いずれも高く評価されている。現在はフランス文化庁のフランス文化庁直轄のバレエ・音楽育成機関のアキテーヌ地方の総括者を務める。